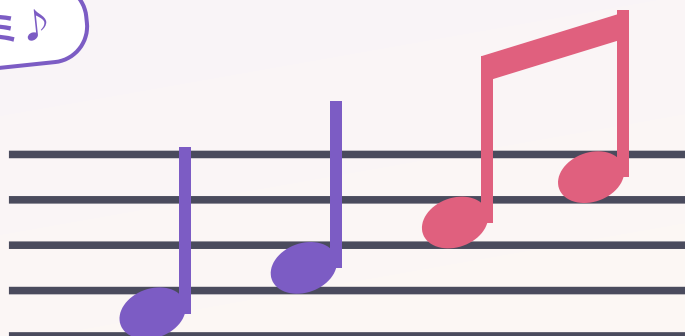


ドレミ♪



音楽ってたのしい！

音楽ってなに？

音に耳をすませることから、はじめよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

音楽の入り口	3～5
音楽のしくみ	6～9
音楽の広がり	10～15
耳をひらく	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

音楽ってなに？

音楽は、特別な人だけのものではありません。

音楽とは、**音を組み合わせ、気持ちや情景を表したものです。**
歌うこと、楽器を鳴らすこと、耳をすませて聴くこと。どれも音楽とのかかわり方です。上手・下手より、まず楽しむことがいちばん大切です。



こんなときも音楽

鼻歌

手拍子

口笛

校歌

ゲームのBGM

お祭りの太鼓

ふだん何気なく耳にしている音の中にも、たくさんの音楽があります。

ポイント

- 音楽は、聴く・歌う・演奏する・つくる、のどこからでも始められます。
- 感じ方は人それぞれ。正解はひとつではありません。
- 毎日の中に、音楽はすでにあふれています。

やってみよう

1. 今日1日で耳にした音楽を3つ書いてみよう。

2. あなたにとって音楽とは何ですか。ひとことで書いてみよう。

ワンポイント 「音楽が苦手」と思っている、好きな曲を口ずさんだことがあれば、もう音楽を楽しんでいます。

書いて覚えよう

身のまわりの音を探そう

耳をすませると、世界は音でいっぱいです。

家の中

時計のカチカチ、冷蔵庫のブーン、なべのぐつぐつ

学校

チャイム、足音、ページをめくる音

まち

車の音、信号の音、店のBGM

自然

雨の音、風の音、鳥の声

体

心臓の音、手をたたく音、声

夜

虫の声、遠くの電車の音



Ken

目をつぶると、いろんな音が聞こえるね。

Emma

うん。雨の音って、リズムみたいで楽しいよ。



ポイント

- ふだんは気づかない音も、意識すると聞こえてきます。
- 音の高さ・大きさ・長さに注目すると、聴き方が変わります。

やってみよう

1. 1分間目をつぶって、聞こえた音をできるだけたくさん書こう。

2. その中で、いちばん音楽っぽいと感じた音はどれですか。

書いて覚えよう

音と音楽のちがい

ただの音が、音楽になるのはどんなとき？

音

ただ聞こえてくるもの

車のクラクション

伝えるための合図

ドアが閉まる音

動作にともなう音

音楽

組み合わせて表すもの

手拍子をくり返す

リズムが生まれる

音の高さを変えて並べる

メロディが生まれる



Ken

机をたたく音も、音楽になるのかな？

Emma

リズムをつけてくり返したら、もう立派な音楽だよ！



ポイント

- 音にくり返しやまとまりが生まれると、音楽に近づきます。
- 人が「表そう」と思って組み立てた音が、音楽になります。

やってみよう

1. えんぴつで机を4回たたいて、リズムをつくってみよう。
2. つくったリズムを、友だちや家族にまねしてもらおう。

ワンポイント 身近な物でも、くり返し方や強さを工夫すると、ちゃんと音楽になります。

書いて覚えよう

音楽の3つの要素

音楽は、3つの材料でできています。



メロディ

melody

音の高さの流れ

歌の部分



リズム

rhythm

音の長さの間

くり返しのもと



ハーモニー

harmony

音の重なり

響きの色

ポイント

- この3つは、**音楽の3要素**とよばれています。
- 多くの曲は、この3つが組み合わさってできています。
- 太鼓だけの音楽のように、リズムだけでできた音楽もあります。

やってみよう

1. 好きな曲を1つ思い浮かべよう。3つの要素のうち、いちばん印象に残るのはどれですか。

2. その理由を書こう。

ワンポイント 料理にたとえると、メロディが主役の食材、リズムが歯ごたえ、ハーモニーが味つけのようなものです。

書いて覚えよう

メロディってなに？

音の高さが動くと、メロディが生まれます。

メロディ

melody／旋律（せんりつ）

音の高さが次々に動いてできる音の流れ

音の高さ

pitch（ピッチ）

高い音・低い音のちがい

ドレミファソのメロディ



音符が右へ行くほど上にあがっています。音が高くなっていく、ということです。

ポイント

- 歌の「歌詞をのせて歌う部分」がメロディです。
- 上がったたり下がったり、同じ高さが続いたりして、表情が生まれます。

やってみよう

1. 上の楽譜のメロディは、上がっている・下がっている、どちらですか。 _____
2. ドレミファソを声に出して歌ってみよう。

書いて覚えよう

リズムってなに？

音の長さや間（ま）が、リズムをつくれます。

リズム

rhythm

音の長さや休みの組み合わせ

拍（はく）

beat（ビート）

音楽の中で一定にきざまれる時間の目もり

手拍子でたたいてみよう



「ウン」のところは休み。音を出さないことも、リズムの大切な一部です。

ポイント

- 心臓の音や歩く足音のように、リズムは体の中にもあります。
- リズムがそろうと、みんなで合わせやすくなります。

やってみよう

1. 上のリズムを、手拍子で3回くり返そう。
2. 自分の名前をリズムにして、手をたたいてみよう。（例：け・ん → タン・タン）

書いて覚えよう

ハーモニーってなに？

音が重なると、響きが豊かになります。

ハーモニー

harmony／和声（わせい）

いくつかの音が同時に重なった響き

和音（わおん）

chord（コード）

高さのちがう音を同時に鳴らしたもの

Emma

ピアノでド・ミ・ソを一緒にひくと、明るい響きになるよ。



Ken

ひとつずつより、重ねたほうがあたたかい感じがする！

ポイント

- 合唱で、ちがう高さの声が重なるのもハーモニーです。
- 重ね方によって、明るい響き・切ない響きなど、色が変わります。

やってみよう

1. 友だちと2人で、ちがう高さの声で「あー」と同時にのばしてみよう。
2. 重なった響きは、どんな感じがしましたか。

ワンポイント カエルの歌を少しずつずらして歌う輪唱（りんしょう）も、かんたんに楽しめるハーモニーです。

書いて覚えよう

音楽は、世界中のどこにでもあります。

音楽は、世界中のどこにでもあります。

神さまや自然への祈りの歌

力を合わせるための仕事の歌

お祭りや結婚を祝う音楽

物語や歴史を語り伝える歌

子どもの遊び歌やおどり

子守歌や、悲しみをいやす歌

- 音楽は、暮らしの中のさまざまな場面から生まれてきました。
- 国や地域によって、使う楽器や音の並びがちがいます。
- 言葉が通じなくても、音楽で気持ちが伝わる場合があります。

1. 日本以外の国の音楽や楽器を、知っているだけ書いてみよう。

聴く・歌う・演奏する・つくる

音楽とのかかわり方は、4つあります。

受けとる

聴く

音楽を味わう・感じる

見る

ライブや演奏の映像を楽しむ

表す

歌う

声で表現する

演奏する

楽器で表現する

つくる

メロディや歌詞を生み出す



Ken

ぼくは聴くのは好きだけど、歌うのはちょっとはずかしいな。

Emma

まずは好きなことからでいいんだよ。聴くのも立派な音楽だもん。



ポイント

- どのかわり方から始めてもOKです。
- 聴く力がつくと、歌う・演奏するときにも役立ちます。

やってみよう

1. 4つのかわり方それぞれで、あなたがしていることを1つずつ書こう。

書いて覚えよう

音楽と気持ち

音楽は、心を動かす力をもっています。

音楽の感じ	よく使われる特徴	気持ち
明るい	速め・高めの音	楽しい、わくわく
おだやか	ゆっくり・やわらかい音	ほっとする
切ない	ゆっくり・低めの音	しんみりする
力強い	大きな音・はっきりしたリズム	元気が出る

ポイント

- 同じ曲でも、聴くときの気分や思い出によって感じ方が変わります。
- 感じたことを言葉にすると、音楽をもっと深く味わえます。

やってみよう

1. 元気を出したいときに聴きたい曲は？ _____
2. 落ち着きたいときに聴きたい曲は？ _____

ワンポイント 「なぜそう感じたのか」を考えると、速さや音の高さなど、音楽のしぐみに気づけます。

書いて覚えよう

好きな音楽・いろいろなジャンル

音楽には、たくさんの種類があります。

音楽のジャンルの例

クラシック

ポップス

ロック

ジャズ

ヒップホップ

アニメソング

民謡

雅楽

世界の民族音楽

ジャンルは音楽を分ける目安のひとつ。いくつかのジャンルがまざった曲もたくさんあります。

Emma

ケンはどうな音楽が好き？



Ken

アニメソングかな。最近はロックも気になってる！

ポイント

- 好きなジャンルがあると、そこから音楽の世界が広がります。
- ふだん聴かないジャンルにも、新しい発見があります。

やってみよう

1. あなたの好きな曲とジャンルを書こう。 _____
2. まだ聴いたことのないジャンルを1つえらんで、聴いてみよう。

書いて覚えよう

音楽のある場所

音楽は、いろいろな場所で生きています。

コンサートホール

オーケストラや合唱を聴く場所

ライブハウス

バンドの演奏を間近で楽しむ場所

学校

授業・合唱コンクール・吹奏楽

お祭り

太鼓や笛、盆踊りの歌

お店や駅

BGMや発車メロディ

家

歌ったり、音楽を聴いたりする場所

ポイント

- 場所によって、音楽の役割や楽しみ方がちがいます。
- お店のBGMのように、気分をつくるために流れている音楽もあります。

やってみよう

1. あなたの町で音楽が聞こえる場所を3つ書こう。

ワンポイント 駅の発車メロディは、駅ごとにちがう曲が使われていることがあります。耳をすませてみましょう。

書いて覚えよう

音を出さずに休む長さを表す記号

音と音のあいだの時間。日本の音楽でとくに大切にされる

- 音を止めることで、次の音がより強く印象に残ります。
- アメリカの作曲家ジョン・ケージの《4分33秒》は、演奏者が音を出さない作品として知られています。
- 静けさの中にも、会場のざわめきなどの音が聞こえてきます。

2. 手拍子で「タン・タン・ウン・タン」をたたこう。休みのところでは、手を止めて心の中で数えよう。

15

音を聴く耳を育てる

よく聴くことは、音楽のいちばんの基本です。

- | | | |
|---|-----------|------------|
| ① | 高い？ 低い？ | 音の高さを聴く |
| ② | 長い？ 短い？ | 音の長さを聴く |
| ③ | 大きい？ 小さい？ | 音の強さを聴く |
| ④ | どんな音色？ | 楽器や声の特徴を聴く |
| ⑤ | 何回くり返す？ | まとまりを聴く |

ポイント

- 一度にぜんぶ聴こうとせず、1つずつ注目して聴くのがコツです。
- 何度も聴くと、はじめは気づかなかった音が聞こえてきます。

やってみよう

- 好きな曲を1曲えらび、①～⑤のうち1つに注目して聴いてみよう。
- 気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

リズムに乗っておどる、手拍子する

〇ずさむ、みんなで歌う

楽器をひく、身近な物をたたく

目をとじて、じっくり味わう

ライブやカラオケでいっしょに楽しむ

好きな曲を好きなだけ聴く

- 楽しみ方に、決まった正解はありません。
- ただし、公共の場では音量やマナーに気をつけましょう。

1. 上の6つのうち、あなたがいちばん好きな楽しみ方は？ _____

2. まだやったことのない楽しみ方に、1つ挑戦してみよう。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

自分と音楽・授業と遊び

学ぶ音楽も、遊ぶ音楽も、どちらも大切です。

授業

しゅくみを学ぶ

楽譜の読み方

音楽の決まりを知る

合唱・合奏

みんなで合わせる力

遊び

自由に楽しむ

好きな曲を聴く

感じるままに味わう

鼻歌・手遊び

思いついたまま表す



Ken

授業で楽譜を習ったら、好きな曲のしゅくみがわかってきたよ。

Emma

学ぶと、遊びの音楽ももっと楽しくなるね。



ポイント

- 授業で学んだことは、好きな音楽を楽しむ力になります。
- 遊びの中で見つけた「好き」が、学ぶきっかけになります。

やってみよう

1. あなたと音楽の思い出を1つ書こう。

書いて覚えよう

はじめての音楽ノート

音楽との出会いを、ノートに残していこう。

日づけ

聴いた曲

歌った人・演奏した人

ジャンル

気づいたこと

感じた気持ち

点数

★★★★★

Emma の例

日づけ 5月10日／聴いた曲 さくらさくら／演奏 箏（こと）／ジャンル 日本の伝統音楽／気づいたこと ゆっくりで、音と音の間が長い／感じた気持ち 春の景色が目にかんだ

ポイント

- 1日1曲でもOK。続けることで、自分の好みが見えてきます。

書いて覚えよう

聴いてくらべよう

2つの音楽をくらべると、ちがいがよくわかります。

くらべるところ	曲A	曲B
速さ	速い・ふつう・ゆっくり	速い・ふつう・ゆっくり
音の高さ	高め・ふつう・低め	高め・ふつう・低め
楽器・声	_____	_____
感じ	_____	_____

ポイント

- 同じテーマの曲（例：春の歌）をくらべると、ちがいが見つけやすくなります。
- ○をつけるだけでもOK。まずは気づくことが大切です。

やってみよう

1. 好きな曲と、ふだん聴かない曲を1曲ずつえらんで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

ひとりでも、みんなでも、音楽は楽しめます。

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

リズムがずれる

速くなったり、遅くなったり

音の高さが合わない

声が高すぎる・低すぎる

はずかしい

声が小さくなる

コツ

こうしてみよう

足で拍をとる

体で速さを感じる

ピアノの音をよく聴く

耳で合わせてから歌う

小さく始める

ハミングから声を出す

ポイント

- できないところは、ゆっくり・短く区切って練習しましょう。
- できたことを1つずつ数えると、自信につながります。

やってみよう

1. あなたが音楽でつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

3つの要素

☐ メロディ

音の高さの流れ

☐ リズム

音の長さの間

☐ ハーモニー

音の重なり

リズムの言葉

☐ 拍（はく）

一定にきざむ時間の目もり

☐ 休符

音を出さない長さの記号

☐ 間（ま）

音と音のあいだの時間

音の言葉

☐ 音の高さ

高い音・低い音

☐ 和音

同時に鳴らした音

☐ 音色

楽器や声の音の特徴

かわり方

☐ 聴く・歌う

受けとる・声で表す

☐ 演奏する

楽器で表す

☐ つくる

音楽を生み出す

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、音楽の感想も伝えやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|---------------------|
| メロディ | ● | ● ア. 音が重なった響き |
| リズム | ● | ● イ. 楽器や声の音の特徴 |
| ハーモニー | ● | ● ウ. 高さのちがう音を同時に鳴らす |
| 和音 | ● | ● エ. 音の高さの流れ |
| 音色 | ● | ● オ. 音の長さとの組み合わせ |

2. 音楽の3つの要素を書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 音を出さずに休む記号 → (休符 / 音符)
2. 一定にきざまれる時間の目もり → (拍 / 和音)

書いて覚えよう

書いて覚えよう

好きな曲を1曲聴いて、1日をスタート

聞こえる音を3つ見つける

声がよく響く場所で歌ってみる

手拍子でリズムまねっこ

音楽ノートに1行書く

家族に好きな曲を紹介する

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- イヤホンで聴くときは、音量を上げすぎないように気をつけましょう。

発表してみよう・感想を書こう

好きな音楽を、人に伝えてみよう。

曲名

歌手・演奏

好きなところ

3要素でいうと

聴いてほしい人

Ken の例

曲名 ○○のテーマ／好きなところ サビで一気に盛り上がるところ／3要素でいうと リズムが速くて力強い／聴いてほしい人 部活の仲間

感想を3文で書こう

① この曲は、～な感じがしました。② とくに、～のところが好きです。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

音楽の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

音楽の本や楽譜を借りる

演奏会へ

地域のコンサートに行く

動画で

楽器の演奏をじっくり見る

次のステップ

音の高さ

高い音・低い音をくわしく

リズム

拍や拍子を体で感じる

ドレミ

音の名前を覚える

ポイント

- この教材の次は「音の高さと低さ」。耳で聴く力を、さらにのばしていきます。

書いて覚えよう

音楽ってなに？チャレンジ

教室の外でも、音楽はすぐに楽しめます。

見つけよう

町の中で**音楽が流れている場所**を探す

聴こう

ふだん聴かない**ジャンル**を1曲聴く

表そう

身近な物で**リズム**をつくる

こたえ

L5 上がっている

L10 (例) 聴く：好きな曲を聴く / 歌う：カラオケ / 演奏する：リコーダー / つくる：鼻歌で作曲

L27 メロディ→エ リズム→オ ハーモニー→ア 和音→ウ 音色→イ
2. メロディ / リズム / ハーモニー 3. 休符 / 拍

L34 (例) 音楽は、音を組み合わせで気持ちや情景を表したものの。

書いて覚えよう

音楽ってなに？ (Season 1 | No.1)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。